

松阪地区在宅栄養研究会の活動について

済生会松阪総合病院 薬剤部・NST 佐久間 隆幸

【はじめに】近年、病院内において栄養療法の重要性が認識され、多職種参加型の栄養サポートチーム（NST）が活発に運営されるようになった。さらに、地域連携を考慮した「地域一体型 NST」も広がりつつある。当地区においても病院 NST と施設・在宅医療従事者が交流できるように 2009 年に松阪地区在宅栄養研究会を発足した。【目的・方法】当研究会での活動内容を報告するとともに問題点や今後の課題を明らかにする。【結果】2009 年 2 月の第 1 回研究会から現在までに 5 回の研究会が開催された。取り上げられたテーマやキーワードは「PEG 症例の病診連携」、「PEG 管理」、「松阪地区在宅栄養サマリー」、「嚥下・口腔ケア」、「半固形化栄養材」、「地域一体型 NST」、「PEG 地域連携パス」などである。松阪地区在宅栄養サマリーは松阪地区の 3 病院が統一したフォーマットを作成し運用することになった。半固形化栄養材については作製と注入の体験実習を行った。参加者は医師、歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士、介護福祉士、ケアマネージャー、歯科衛生士、理学療法士などであった。【結語】当研究会には施設や在宅で栄養管理に関わる職種の人たちが多数参加され、その関心の高さをうかがい知る事ができた。しかし、病院側から発信される内容が多く、地域連携を円滑にするために今後は双方向の情報交換ができる研究会にする必要があると思われた。